

## 抗結核薬の種類

結核の薬は、抗結核薬といわれ、結核菌を殺す作用のある薬です。

主に使用される抗結核薬は、

I N H : イソニアジド(イスコチン)(ヒドラ)(イソニコチン酸ヒドラジド)

R F P : リファンピシン(リファジン) o r R B T : リファブチン(ミコブティン)

P Z A : ピラマイド(ピラジナミド)

S M : 硫酸ストレプトマイシン

E B : 塩酸エタンブトール(エサンブトール)(エブトール) があります。

結核の治療は、ほぼこれらのうち4剤または3剤を併用して治療を行います。

(標準治療法)

なぜ抗結核薬を4種類または3種類服用するのかというと、薬の耐性菌ができないようにするためです。

つまり複数の薬を飲むことによって、結核菌に対して耐性ができないようにしています。耐性ができてしまうと、薬が効かなくなってしまう、結核が治らなくなるので困るのです。

I N H、R F Pの2つの薬が効かなくなる結核を多剤耐性結核といいます。

※この他の抗結核薬

L V F X : レボフロキサシン(クラビット)・・・(但し注射薬は公費負担適用外)

K M : 硫酸カナマイシン

T H : エチオナミド(ツベルミン)

E V M : 硫酸エンビオマイシン(ツベラクチン)

P A S : パラアミノサリチル酸(ニッパスカルシウム)

C S : サイクロセリン

D L M : デラマニド(デルティバ)・・・(使用に制限がある)

B D Q : ベダキリン(サチュロ)・・・(使用に制限がある)

S P F X : ソアルフロキサシン・・・(公費負担適用外)

C P F X : シプロフロキサシン(耐性をつくりやすい)・・・(公費負担適用外)

M F L X : モキシフロキサシン・・・(公費負担適用外)